



はあもにい

令和7年11月1日発行
●社会医療法人創和会広報誌はあもにい / 発行 理事長 重井文博



幸せをすべての人と共に 創和会ワンチームとなって ～10月1日幸町記念病院辞令交付式 理事長挨拶～

理事長 重井 文博

本日令和7年10月1日をもちまして、医療法人三祥会 幸町記念病院は社会医療法人創和会と正式に合併、新たなスタートを切ることになりました。これまで幸町記念病院の運営に尽力されてこられた皆さまに、心より敬意と感謝を申し上げます。

思えばやはり、故・宮崎先生のお顔が浮かんできます。ここにおられる先生方、スタッフの皆さんは、宮崎先生を思いながら、いろいろと心に感じながら、ここまでしっかり頑張ってくれました。「宮崎先生、これからも皆で力を合わせ、一緒になって頑張りますからね。お話しを伺ったときに心配されていた事がクリアできそうですよ」と、ご報告したいと思っております。

皆さん、本日のこの辞令交付式は、単なる人事の手続きではございません。私達は一つのチームとなって新たな歩みを始める。そのための出発の儀式と思っていただけたらと思います。創和会の理念は、「生きることの尊さと 健康であることの幸せを、すべての人と共に」。病院は病める人を救うのが役目。何だかそれらしくないと思われるかもしれませんが、この理念の文言は、腎臓病を若くから患い、自身が維持透析者であった私の父である前理事長 故・重井博の作です。重井博は、「しげい病院」「重井医学研究所附属病院」において腎疾患・透析医療を診療の中核に置き、また腎臓病の基礎医学研究施設である「重井医学研究所」を設立しました。皆さんが加わった創和会の創設者がどういう想いであったか、推察してもらえそうです。重井博は自然保護活動の先駆者でもあり、「倉敷昆虫館」「重井薬用植物園」を1960年

代に創設しました。理念を引き継いだ現在の創和会は、「しげい腎クリニック早島」「幸町記念病院」を加え4施設で腎透析医療に注力し、また疾病予防施設として厚生労働大臣認定健康増進施設・指定運動療法施設「はあもにい倉敷」を運営する社会医療法人に成長しました。

宮崎先生は、「医療法人三祥会の『祥』の意味は『喜ぶべきこと・さいわい』で、『三祥』は患者・家族・職員の幸せを願ったものです。」と教えてくださいました。三祥会 幸町記念病院の「幸町」は前身である幸町病院の創業の地（岡山市北区幸町）の地名を取ったとのこと。創和会の理念にも「幸せ」がありますし、なんといっても創和会創業の地は倉敷市「幸町」です。運命の糸と言っては言いすぎでしょうか。

2025年10月1日は、私たちが一つのチームとなって新たな歩みを始める記念日です。創和会 **ワンチーム** となって一緒に歩んでいきましょう。



▲辞令交付式出席者

第44回消火技術訓練大会

優勝!!

重井医学研究所附属病院 事務部 総務課 小笠原 裕之

第44回消火技術訓練大会が10月2日(木)に岡山市消防教育訓練センターで開催され、消火器男子の部に出場しました。

本番までの約3週間、院内立体駐車場や現地での練習を行いました。本番を想定しながら、現監督兼隊長である小笠原さんのご指導の下、消火器の使い方や規律・注意点を学びました。また、現地での練習では消防職員の方々から動作やタイムを速くするコツを教わりました。

本番では、男子の部でトリとして出場し、多くの事業所に見守られた中で緊張もありましたが、練習通りの力を発揮することができ、ベストに近

い記録で優勝することができました。

今大会への出場に理解を示してくださった事務部長や所属長をはじめ、ご指導してくださった小笠原さん、大会練習中業務を抜けた際にフォローしてくださった方々、声援をくださった職員の皆さまには大変感謝いたします。

大会出場を通じて、防火・防災への意識がより一層高まりました。今回学んだ経験を活かし有事の際は率先して行動できるよう業務に努めて参ります。また、来年度から監督を総務課 伊達が引き継ぐ予定ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



▲優勝しました



▲表彰式

第37回消火技術訓練大会に出場しました

しげい病院 医療支援部 総務課 長綱 将也

10月3日(金)に第37回消火技術訓練大会が倉敷スポーツ公園イベント広場にて開催されました。この訓練大会は消火器の基本的な取り扱いと実際に火事が起きたときの通報から初期消火完了までの流れを競うものです。選手は指揮者と1番員の2人1組となり、指揮者が通報、1番員が火災現場の発見、伝達と初期消火をするという役割になっています。

本番に向けて9月から練習が始まりました。去年出場した際の反省点を活かしテキパキ動き、大きな声を出すことを意識して練習しました。細かいところは医療支援部 吉田係長と選手の3人で調整していきました。

本番では緊張しながらも自分たちの全力を出すことができました。結果は思ったようにはいきませんでしたでしたが、今回の訓練大会で消火器の正しい

使い方や防災への意識を高めることができました。練習では様々な企業、病院の職員の方と話す機会がありとても貴重な経験になりました。

最後に今大会に参加させてくださった事務部長をはじめ監督の吉田係長、練習で不在の間支えてくださった先輩方、熱心に指導してくださった倉敷消防署の皆さまに心から感謝いたします。



男性育児休業取得の取り組みについて テレビ取材を受けました！

しがい病院 医療支援部 課長補佐 本多 雅亮

このたび、当院の男性育児休業取得の取り組みについてテレビ取材を受け、RSK イブニングニュースにて放映されました。全国的に男性の育休取得率や取得日数が課題となるなか、当院では取得率・日数ともに全国平均を上回っていることが評価され、約1時間半にわたりインタビューや撮影が行われました。

取材はインタビュアー1名とカメラマン1名という体制でしたが、慣れないカメラを前にしての受け答えはやはり緊張しました。それでも、職員が安心して制度を利用できるよう環境を整えることの大切さを自分の言葉で伝えられたのは貴重な

機会だったと感じています。

放映時間自体は数分と限られていましたが、当院が広報誌で育休取得者の声を紹介していることや、院内掲示を通じて制度を周知していることなど、日頃からの取り組みがうまくまとめられました。取材スタッフの方々も丁寧に話を引き出してくださり、病院全体の雰囲気やお互いに支え合う風土が伝わる内容になっていたと思います。

今回の取材を通して、改めて制度の意義を再確認するとともに、引き続き利用しやすい雰囲気づくりに努めていきたいと考えています。



▲テレビ取材の様子

倉敷市一斉地震対応訓練に 参加しました

～災害対策本部の設営と安否確認システム送信訓練～

しがい病院 医療支援部 係長補佐 比津 守弘

9月26日（金）に実施された倉敷市一斉地震対応訓練にあわせて災害対策本部の設営訓練を行いました。大規模地震発生を想定し、総務課を中心とした災害対策本部を速やかに立ち上げ、各部門から集まる情報を集約する体制を確認しました。

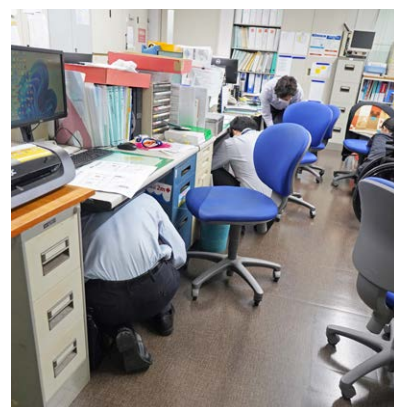
看護部門（外来）では、各病棟の被害状況や患者・職員の安否情報を取りまとめ、災害対策本部へ報告。実際に報告ルートやアクションカードを使うことで、情報伝達の流れや改善点を洗い出す良い機会となりました。また、訓練時には現場との連携や優先順位の確認も行い、災害時に混乱を防ぐための課題を整理しました。また、「プラスワンア

クション」として、安否確認システムを活用した訓練を実施しました。

地震発生時には、安否確認システムから安否

確認メールが自動発信され、回答状況をもとに職員の安否を確認します。その際、当日出勤している職員は回答ができないため、総務課の職員が勤怠データを基に代行で安否確認システムに回答します。しかし、訓練を行ってみて、総務課職員は被災状況の把握に集中すべきで、代行での回答は応援者ができるようにマニュアル化を進める事が今後の検討課題となりました。マニュアル整備や事前周知を強化し、いざというときに確実に情報が届く体制づくりを進めます。また、安否確認システムについては「回答率の向上」が重要な課題として挙げられました。

今後は、回答率（現在84%）の目標値を設定するとともに、回答促進の仕組みを検討し、確実な安否把握につなげていきたいと思っています。今回の訓練で得られた学びを活かし、いざという時に確実に行動できる体制の構築や、職員と患者さん双方の安全を最優先に、災害に強い病院づくりを進めてまいります。



▲倉敷市一斉地震対応訓練への参加



▲災害対策本部の設営

希望の光をともし

「グリーンライトアッププロジェクト」

～移植医療への理解と感謝を込めて～

幸町記念病院 事務部 矢吹 静香

毎年10月は、臓器移植への理解を深めることを目的とした「臓器移植普及推進月間」です。この期間中、全国各地でさまざまな啓発活動が行われており、その一環として、10月16日の「グリーンリボンデー」を中心に、ランドマークや病院が移植医療のシンボルカラーである「グリーン」にライトアップされます。

このグリーンの光には、臓器を提供されたドナーへの感謝、移植を待つ患者さんの希望、そして移植医療を支える医療従事者へのエールの意味が込められています。移植医療に関わる多くの人々の想いが、やさしいグリーンの光となって夜空を照らします。

岡山県とともにこのプロジェクトを主催する岡山県臓器バンクの前理事長である当院の田中院長の呼びかけにより、今年度も社会医療法人創和会に属するしげい病院・重井医学研究所附属病院にご賛同いただき、幸町記念病院とともにライトアップを実施しました。

臓器移植は、臓器を提供する方の尊い意思と、それを受け継ぐ医療チームの連携によって成り立つ医療です。臓器提供への理解と「意思表示」の

促進は、移植を必要とする多くの患者さんの命を救う大切な一歩となります。

皆さんは、臓器移植についての「意思表示」には4つの方法があることをご存じでしょうか？

- ① マイナンバーカード
- ② 運転免許証
- ③ 臓器提供意思表示カード
- ④ インターネット上での登録（日本臓器移植ネットワーク）

①②は身近にあるものですので、是非一度確認してみてください。そして、臓器移植に関しては一人ひとりが4つの権利を持っています。臓器を「提供する」「提供しない」、移植を「受ける」「受けない」というものです。どの考えもどの選択も尊重されるべき大切な意思です。そしてどの選択であっても、自分の意思をきちんと表示しておくことがとても大切です。この機会に、ご家族や大切な人と一緒に「移植」のこと、「いのち」のことを話してみたいかがでしょうか。

このグリーンの光が、多くの命をつなぐ架け橋となっていることを、心の片隅にでもとどめていただけたら幸いです。

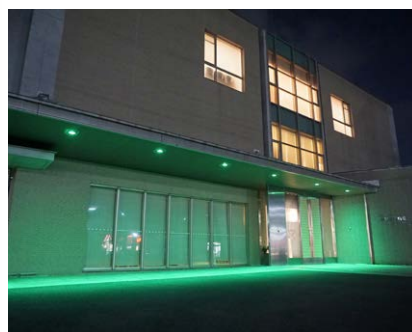
しげい病院



重井医学研究所附属病院



幸町記念病院



やめられないリレーマラソン

重井医学研究所附属病院 看護部 入院棟4階 瀬川 佳恵

「やばい、走らなきゃ」と。毎年9月になると思います。私がトマト銀行6時間リレーマラソンに参加するのは今回で8回目になります。リレーマラソンは10月にあるので9月頃から練習を始めます。1日目は家から土手を通って岡南大橋の下まで、2日目は岡南大橋の下を折り返して家まで、3日目は速度を上げて岡南大橋の下を折り返して家まで帰る。14日目ころから岡南大橋を渡って帰りは歩く、15日目は岡南大橋を渡って折り返して家まで走る。家から岡南大橋の下までは2キロ、岡南大橋を渡って折り返すと5キロです。毎年本番が近くなると走れるか不安になり、嫌になることもあります。しかし、最後の感動が忘れられず、参加を続けています。

いよいよリレーマラソンの始まりです。カウントダウンが始まりスタート。グラウンドを走行中、

待機している座席を見上げるとみんなが手を振り応援してくれます。走った後は、みんなが「お疲れー」と迎えてくれます。走るのはとてもしんどくて一周一周がとてつらいのですが、みんなの声援があるからこそ6時間頑張れるのだと思います。自分のため、そしてチームのために6時間走ったあとは、多職種関係なくみんなの気持ちが一つになります。最後30秒前のカウントダウンでアンカーが走る姿をみると涙がでます。

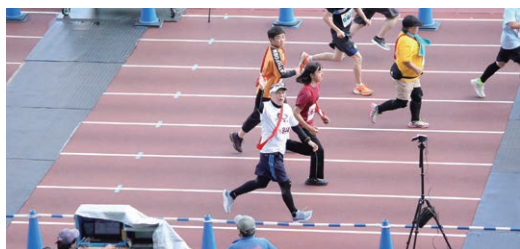
幸町記念病院の方も参加されており、創和会の和が広がったように感じました。リレーが終わったあとも、参加したメンバーと院内で話をする機会も増え、仕事をする面でも役立っています。毎年、リレーマラソンの時期になるとドキドキしますが、多くの人が参加し、つながりを作ることができる良い機会だと思っています。



▲幸町記念病院参加者



▲重井医学研究所附属病院参加者



▲創和会で集合！

20年 永年勤続海外研修旅行

～夢のトルコ周遊8日間～

重井医学研究所附属病院 臨床検査部 主任 大西 稔子

東洋と西洋が交わる国、トルコへ研修旅行に行かせていただきました。

10月2日の夜22時に、関西空港から直行便利で12時間かけてイスタンブール空港へ。そこで乗り継ぎ、国内線で2時間、ネヴシェヒル空港へ降り立ちました。マイナス6時間の時差の関係で、3日の朝8時からカッパドキア観光が始まりました。

まず世界遺産のカイマクル地下都市やウチヒサルを訪れました。一面に広がる岩峰を見渡す高台や、ラクダや三姉妹と名付けられた奇岩のフォトスポットを巡りました。翌日の早朝はこの旅行のハイライト、有名なカッパドキアでのバルーンツアーが予定されていましたが、前日に中止が決定。残念過ぎる朝を迎えました。

その後、宗教の強いコンヤのメヴラーナ博物館を見学し、約9時間のバス移動で、やっと憧れのパムッカレに到着しました。宿泊したリゾートホテルの屋内の温泉プールで、一日の疲れをいやすことができました。



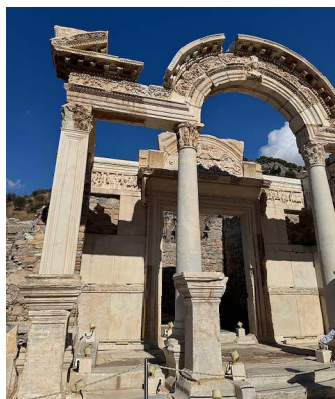
▲パムッカレ

次の日は、カレンダーで見て以来、訪れるのを楽しみにしていた、世界遺産の白い石灰棚へ。ここだけが白い段々畑になった岩棚の温泉で足を漬けていると、パムッカレでたくさんのバルーンが



▲ヒエラポリスに浮かぶバルーン

飛んでいるのが見えました。私は乗れなかったけど、バルーンと世界遺産の雄大な美しい景色に大感動しました。次に、エフェソス遺跡を訪れました。神殿や劇場など古代ギリシャの遺跡が立ち並び、水洗トイレや床暖房といった設備もバッチリ残って



▲エフェソス遺跡の神殿

いて、映画「テルマエ・ロマエ」の世界を彷彿とさせました。その後、エーゲ海に面していて別荘地として知られるイズミールへ。空港からイスタンブールへ飛行機で移動しました。初めて見るイスタンブールの街並みはヨーロッパのよう

で別の国に来たようでした。その日は豪華ホテルに宿泊しました。

港には海外からの豪華客船が停泊しており、歴史地区のブルーモスクやアヤソフィアを観光しましたが、どこも人がいっぱい。モスクの中は初めて見る異文化の見事なタイルやステンドグラスで、荘厳な雰囲気とも相まって、ため息の出るような美しさでした。イスラム教では女性はモスクの中では髪の毛を隠さなければいけません。私も大判スカーフを巻いて見学しました。世界遺産のトプカプ宮殿では、モーゼの杖や純金の椅子、大きなダイヤなど目が眩むような煌びやかな金銀財宝が展示してある宝物殿を巡りました。街中にあるグランバザールは、香辛料やお菓子、ナッツなどの食料品だけでなく、金製品や偽ブランド品、たくさんのお土産が並ぶ屋内の市場で、楽しくショッピング。トルコ最後の晩御飯は、イスティクラル通りのレストランでケバブをいただき空港へ。ツアーの皆さんと別れを惜しみながら、明るくさよならを言い合って、楽しかった旅行が終わりました。

職場の皆さんのおかげで、全部が初めての貴重な経験を得ることができました。ありがとうございました！



▲イスタンブール

「フィジカルチェック」で「ケガゼロ」を目指す！

～倉敷高校陸上部の選手を測定～

重井医学研究所附属病院 リハビリテーション部 理学療法士 松下 拳也

はじめにフィジカルチェックに関して簡単に説明させていただきます。フィジカルチェックとは「一般社団法人日本スポーツ障害予防協会」（以下、協会）が提供している怪我をしやすい人に共通する特徴を整理し、怪我のリスクを数値化・グラフ化することで「ケガゼロ」を目指す取り組みです。協会の養成講座を受講することで「ケガゼロインストラクター」として活動することができるようになります。

重井医学研究所附属病院リハビリテーション部の石井・松下が協会の養成講座を受講し資格を所得しました。（岡山県に石井、松下を含め5名しかいません（2025年10月現在））。この資格をどうにか活かせないかと考えていた際に、はあもにい倉敷で倉敷高校陸上部の選手がInBodyの測定をしていることを知りました。そこでInBodyに加えて、フィジカルチェックを行うことで陸上部選手の方々のパフォーマンス向上につながり、ケガのリスクを抑えることができるのではないかと考えました。倉敷高校陸上部監督の中元先生にご相談させていただき、10月17日（金）に倉敷高校へうかがって、フィジカルチェック測定会を開催させていただきました。

今回、男子10名、女子6名の選手を実際に測定

させていただきました。生徒の皆さんは非常に協力的で、楽しくかつ真剣に測定に取り組んでくださいました。測定を進める中で、生徒の皆さんもご自身の身体の状態を知ろうとされ、競技に活かそうとする姿勢を見せてくださいました。このような前向きな姿勢が、長年にわたりすばらしい成果を出し続けられる理由のひとつであると感じました。

今後も多くの方にフィジカルチェックを受けていただき、将来発生しうるケガのリスクを軽減することができればと考えております。皆さまの知り合いの方で、スポーツをされている方がおられましたら、ぜひこの取り組みを紹介していただきたいです。これをひとつのきっかけに自分のからだに向き合う時間をつくっていただけると幸いです。

12月から私たちがはあもにい倉敷で講座を開講します。今回行ったフィジカルチェックやパーソナルトレーニング、ピラティス等その方のニーズに合わせたご提案をさせていただきます。ご興味がある方はぜひ声をかけてください。ご連絡をお待ちしております。



▲倉敷高校を訪問しました



▲倉敷高校陸上部との集合写真

催し物案内

重井薬用植物園

植物園を楽しむ会

「秋山の千葉の彩を楽しむ」

日時：11月15日（土）

10:00～12:00

会場：重井薬用植物園

編集後記

●先日、四国の名峰・石鎚山に登ってきました。修験道の険しい登山道を進む中で、立派な杉の木や野生の猿、珍しい蝶など、自然の息吹を間近に感じました。鎖場を越え、天狗岳へ向かう絶壁ではさすがに足が震えましたが、山頂からの眺めはまさに絶景。日本百名山の名にふさわしい雄大な景色でした。山小屋で味わったカレーも格別で、心身ともにリフレッシュできた一日でした。皆さんもぜひ、石鎚山で自然の力強さと爽やかな達成感を味わってみてください。（TS）

●子どもと一緒に出かけられる時間はあと数年だろう。と思い、「行きたい時にいつでも行けるように」と今年のはじめに、USJの年パスを家族分購入しました。家族の休みが合えば行き、満喫しました。親として、子どもの夢や希望は叶えたいと思っていたので、叶えることができてよかったなあと感じています。もちろん！私も楽しかったです。おかげで充実した1年となりましたが、先日、来年の夢を子どもに聞くと、「鈴鹿サーキットパークの年パスがいい！」と……。正直、遠いので「それは勘弁してほしい……」と思案中です。来年も新しい楽しみを見つけ、充実した1年を過ごせると良いなと思っています。（IY）

岡山県病院協会 優良職員表彰おめでとうございます

今年の岡山県病院協会 優良職員表彰は、
創和会からは以下の7名の方が受賞されました。

今年の記念講演はファジアーノ岡山
木村オーナーでした。（前列中央男性）



社会医療法人 創和会

WEB版はこちら。
バックナンバーもご覧ください。➡



- しげい病院
- 重井医学研究所附属病院
- しげい腎クリニック早島
- 幸町記念病院

- 倉敷しげい訪問看護ステーション
- 倉敷しげい居宅介護支援事業所
- 岡山しげい訪問看護ステーション
- 岡山しげい居宅介護支援事業所

- 重井医学研究所
- 健康増進施設 はあもにい倉敷
- 重井薬用植物園
- 倉敷昆虫館